

姉妹都市から 新年のご挨拶



埼玉県入間市長
田中 龍夫

佐渡市の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様方には、清々しい初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、貴市におかれましては、野生復帰をめざして放鳥したトキのひなが36年ぶりに自然界で誕生するという明るい話題を日本全国に発信されました。これもひとえに貴市が真摯に自然保護に尽力された成果であり、未来につながる素晴らしい取り組みであると存じます。姉妹都市として誇りに思いますと同時に、今後も更なる飛躍が遂げられますようお願いしております。

また、昨年中は「京町音頭流し 宵乃舞」や「入間万燈まつり」をはじめ、様々な文化芸能・スポーツイベント等を通じて、両市民の親交を一層深めることができましたことに、心より感謝申し上げます。特に、本市イベントにおいて、佐渡市の物産ブースを設けていただき、多くの入間市民が佐渡市の特産品の数々に触れ、堪能する機会が得られたことにつきまして、重ねて御礼申し上げます。

本年につきましても、これまで両市が培ってきた交流関係を継続し、さらに教育・産業など幅広い分野において推進が図られますよう両市の絆を深めてまいりたいと存じます。

結びに、貴市のますますのご発展と貴市市民のご多幸とご健勝を祈念し、新年の御挨拶といたします。



東京都国分寺市長
星野 信夫

佐渡市の皆様、あけましておめでとうございます。皆様には、希望に満ちた新春を健やかに迎えられましたこととお慶び申し上げます。

私は今年の夏、貴市を訪問し甲斐市長、祝市議会議長等と親しく交流させていただきました。今後も姉妹都市としての交流を図るとともに、東日本大震災を教訓に、窮地の際には両市の災害協定の実効性を高めるため、より連携を強めていくことを確認いたしました。

佐渡市では大佐渡石名天然杉遊歩道を歩き、佐渡の豊かな自然にふれ、姉妹都市交流のきっかけとなった真野国分寺では佐渡の歴史を再認識しました。また、アースセレブレーションに参加し、佐渡の新しい文化の鼓動を感じてまいりました。

私と同様に、昨年も多数の国分寺市民が貴市を訪問し皆様方と親しく交流させていただきました。

また、本市最大のイベント「国分寺まつり」には市長、議長においでいただき交流を深めるとともに、毎年出店いただいている佐渡物産展は昨年も大盛況であり、ステージでは郷土芸能の民謡をご披露いただきました。

心温まる佐渡市の皆様のお心遣いに、心より感謝申し上げます。

今年は平成元年の姉妹都市提携から25年目に入ります。今後も貴市との交流を図り、両市の絆をより深めてまいりたいと考えております。

年頭にあたり新しい年が皆様にとって、幸多き年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。